

設問1

【薬物乱用事件】

平成18年度以降、学内で学生による薬物乱用事件(覚せい剤取締法違反や大麻取締法違反による逮捕者発生)がありましたか。

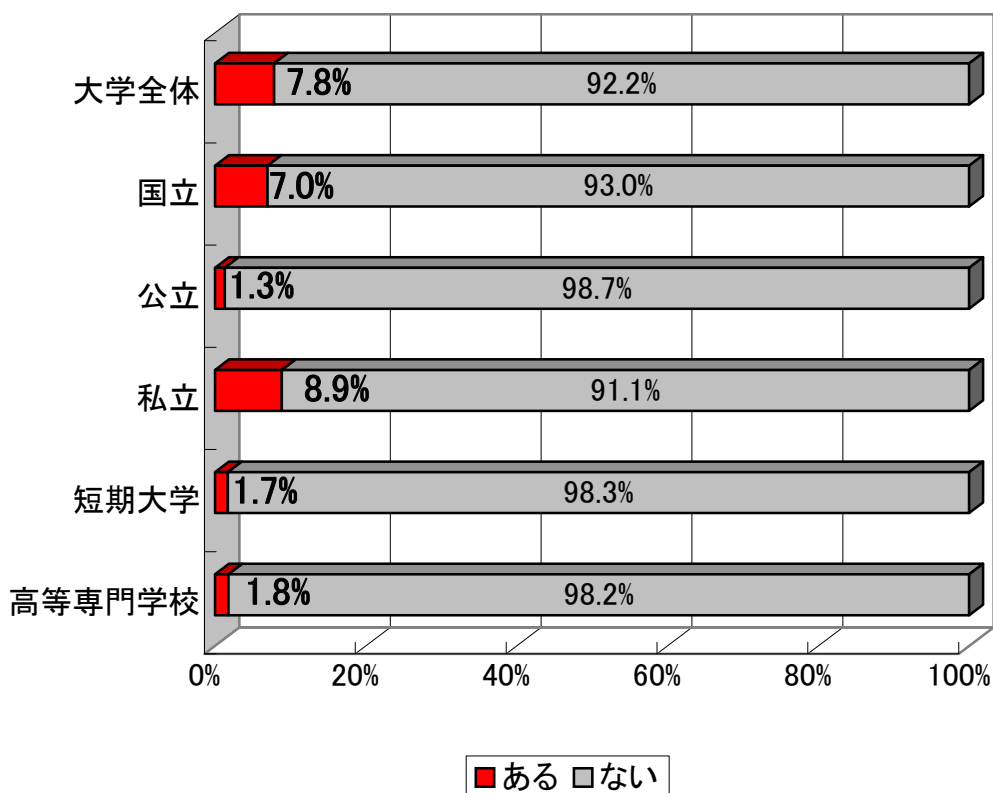
(単位:校)

	ある	ない	合計
大学全体	57	670	727
国立	6	80	86
公立	1	76	77
私立	50	514	564
短期大学	6	344	350
高等専門学校	1	55	56

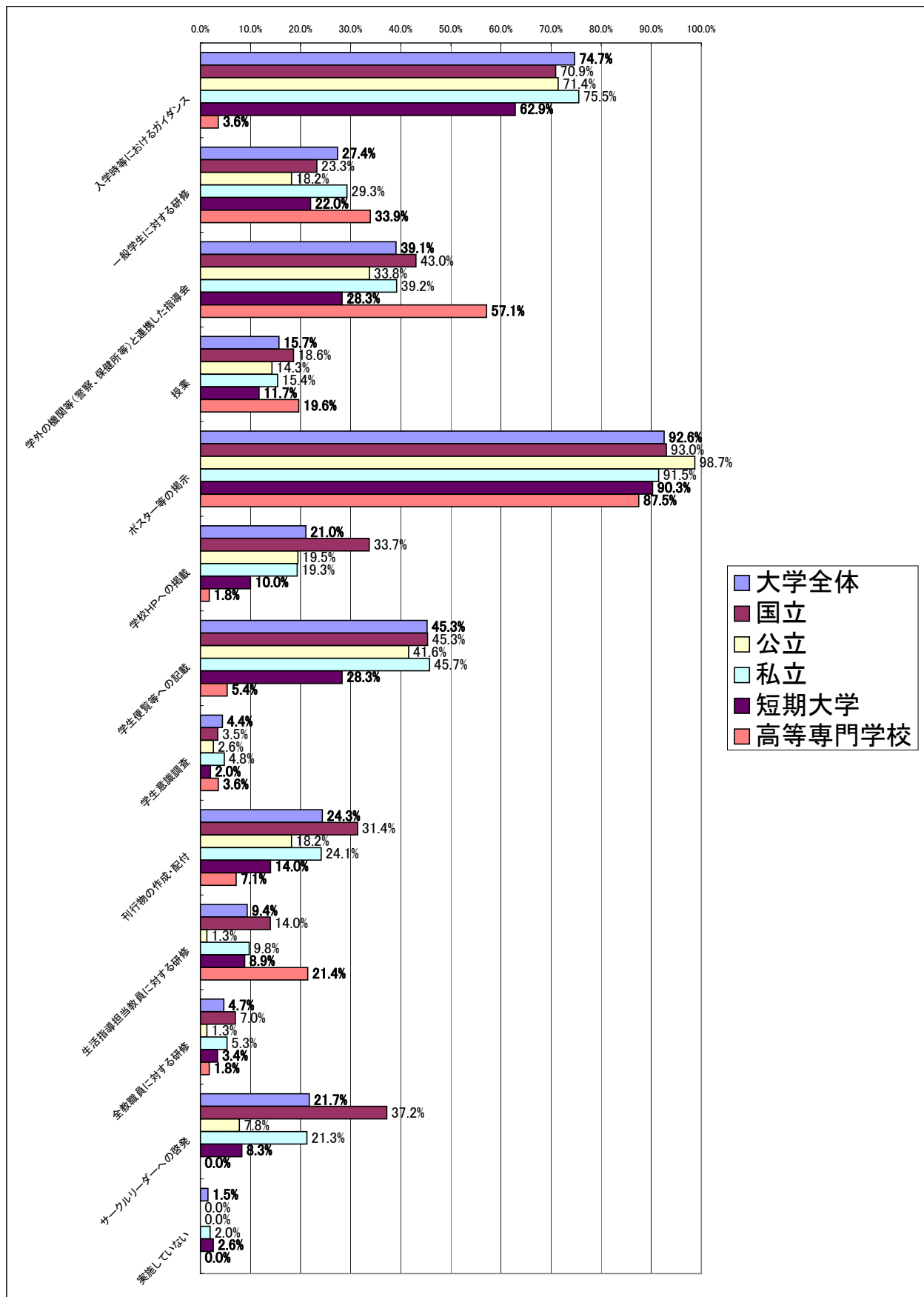
(単位:%)

	ある	ない
大学全体	7.8%	92.2%
国立	7.0%	93.0%
公立	1.3%	98.7%
私立	8.9%	91.1%
短期大学	1.7%	98.3%
高等専門学校	1.8%	98.2%

表1



設問2 ① 【薬物乱用防止に関する取組】  
 薬物乱用防止に関して行っている取組(平成21年度実績)  
 ※複数回答



設問2 ①a 【薬物乱用防止に関する取組】  
 入学時等におけるガイダンスの実施回数  
 (平成21年度)

(単位:校)

	1回	2回	3回	4回以上
大学	467	42	8	21
国立	54	3	1	3
公立	51	3	0	0
私立	362	36	7	18
短期大学	196	14	2	3
高等専門学校	2	0	0	0
合計	665	56	10	24

設問2 ①b 【薬物乱用防止に関する取組】  
 一般学生に対する研修の実施回数  
 (平成21年度)

(単位:校)

	1回	2回	3回	4回以上
大学	147	36	4	8
国立	17	2	0	1
公立	7	6	0	0
私立	123	28	4	7
短期大学	54	17	2	2
高等専門学校	15	3	1	0
合計	363	92	11	18

設問2 ①d

【薬物乱用防止に関する取組】  
授業の実施(科目名・その他)  
(平成21年度)

【大学】

教養科目	専門科目	その他
健康スポーツA これからの健康科学	学校保健	初年時科目 新入生セミナー
「ピア・サポートを考える」	キャリアプランニング I	2～4年次生の必修科目ゼミ等の授業中に各教員がパンフレットを配布し啓発・指導を行った。
1年次セミナー 1年生必修 「大学入門講座」	サバイバル論	SAセンター「危機管理ガイダンス」
アカデミックリテラシー	スポーツ社会学	ガイダンス
アセンブリアワー	フレッシュマンセミナー 基礎ゼミナール	チャペルアワー
ウェルネス論	医学総論Ⅱ 演習	映画、講義、グループ討議、発表会
キャリアデザイン	衛生学入門	外部講師(保健所)
キャンパスライフプランニング	学校保健Ⅰ ※教育学科 保健コースのみ	学科単位で授業以外で実施。
こころと体の健康をめざして	学校保健学	学長公示・研究室回覧文書の作成
こころと体の健康科学A・B	法医学	基礎・専門演習
スチューデントスキル科目・基礎演習科目	環境衛生学(3年)・薬理学(3年)・薬物資源学(1年)	基礎演習
フレッシュマンアワー	看護薬理学	基礎科目
フレッシュマンセミナー	検証と医学等	教職関係の授業で折に触れ注意喚起をした
ヘルスサイエンス	歯科法医学	授業時間を利用したガイダンス、講習会
嗜好品と健康	薬理学	修学基礎Ⅰ
まほろば教養ゼミ	精神衛生学	心身ウェルネス
医学の基礎	児童保健学概論	新入生研修
医学一般I	疾患と治療Ⅳ	生徒・進路指導論
学生生活ガイダンス	疾病・治療Ⅲ (精神)	早期体験学習(ロールプレイ)
学生生活の危機管理	社会と健康	半期:外部講師
学生生活概論	社会福祉学科基礎演習(保健管理室が1コマを担当しその中で実施)	法学部特別講義
基礎ゼミナール	人間環境学部「人間環境学入門」ほか	薬物乱用防止に係る特別講義(全学年)
基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ	生体と薬物	留学セミナー
基礎教養ゼミⅠ・Ⅱ	精神看護学	
教養演習 警察からの講演	精神保健学Ⅰ	
教養基礎演習Ⅱ	精神保健学Ⅱ	
教養講座「危機管理対策」	入学セミナー	
経営学部「心理学Ⅰ」ほか	比較臨床哲学	
健康スポーツ科学(1年)	薬学への招待Ⅱ (薬学概論Ⅱ)	
健康と医療(アルコール・薬物依存)	薬学概論、医療と法律、衛生化学、薬理学	
健康の科学	薬学入門	
健康運動科学	薬用植物学、薬用天然物化学、生薬学1、生薬学2、薬理学1、医薬品安全性学	
健康科学	薬理学	
健康科学講義	薬理学(医学部)	
自己管理論	薬理学、法医学、精神医学	
社会生活概論	薬理学概説(薬物乱用防止を含む)	
修学基礎	養護概説	
小児保健		
新入生セミナー		
人間関係論		
人間力講座Ⅰ		
生活と健康		
精神医学概論		
青少年問題論		
総合講座Ⅰ		
体育(講義)		
大学演習(1年生)		
大学教育入門セミナー		
大学生のための健康教育		
大学生生活環境論		
知的生き方概論		
脳と行動		
保健体育		
保健体育講義		
法律と社会		
薬の基礎科学/救命・救急学概論		
薬害		
大麻(マリファナ)とは?		
薬学への招待		
薬学入門Ⅰ		

【短期大学】

教養科目	専門科目	その他
アセンブリアワー	リラクゼーション論	基礎科目
ウエルネス論	学校保健 I ※教育学科 保健コースのみ	半期:外部講師
キャリアデザイン	看護学、学校保健	新入生研修
くらしと毒物	基礎ゼミナール I	薬物招待講演会
スポーツと健康	健康とスポーツ	チャペルアワー
ゼミナール	児童保健学概論	フォーラム
ライフスポーツ理論	小児保健	
運動スポーツ I	精神保健	
教養ゼミ	薬理概論	
教養基礎演習 II	養護概説、養護特講	
教養講座「危機管理対策」		
健康科学		
健康科学 II～IV		
健康教育学		
社会生活演習		
小児保健		
人間関係論		
精神保健学 II		
体育(講義)		
知的生き方概論		
特別演習 I・II		
文理学		
保健体育		

【高等専門学校】

教養科目	専門科目	その他
健康科学	健康科学特論	特別活動
保健		3学年合同ホームルーム
保健体育		
薬物乱用防止の特別講演		

設問2 ①h 【薬物乱用防止に関する取組】  
学生意識調査の実施  
(平成21年度)

学生意識調査(利用内容)

- ・ 意識調査を学生の関心を高めることに利用した。
- ・ 調査結果を集計し、本学の状況、本学学生の違法薬物に関する認識を全学生、全教職員に周知する。
- ・ 学生生活実態調査の一項目として違法薬物関連情報について調査し、得られた結果に基づき、学生への啓発・注意喚起に努める。
- ・ 薬物使用が重大な犯罪であることの意識づけ
- ・ 学生委員と学生自治会役員が情報を共有し、学生指導に役立てた。
- ・ 薬物乱用防止に関する取組のための基礎資料
- ・ 1年生対象に行った調査結果をリーフレットにまとめ、学生に配布して還元し、啓発する。
- ・ 実態の把握
- ・ 各種「薬物乱用防止イベント」のフィードバック
- ・ 啓発・啓蒙活動の一環。学内啓発活動の参考データとして。
- ・ 学生委員会参考資料
- ・ 現状を把握し、学生の指導に利用
- ・ 課外活動アンケート調査にて実施。
- ・ 各キャンパスの学務委員会および教授会に報告。次年度以降の対策に利用することとした。
- ・ 大学生の薬物に関する知識や傾向をつかむ
- ・ 現状の把握と啓発
- ・ 学内広報誌にて啓蒙活動の一環としてデータ公開。
- ・ 保健所主催の対話集会の事前調査
- ・ 現状の把握及び啓蒙活動計画の参考資料として活用。
- ・ 今後の学生支援業務に活かす為
- ・ 研修時に簡易なアンケートテストを実施
- ・ アンケート実施 教職員・学生に周知し、集会実施
- ・ 薬物乱用防止講習会の後アンケートをとり、本学の薬物に対する意識を確認する目的。
- ・ 調査結果を学内掲示板に掲示し学生の意識の実態を公表する。
- ・ 夏休み中の健康調査として、インフル感染の有無とともに「薬物に関心があるか・周りで見聞きしたか」など回答させた。
- ・ キャンパスの学務委員会および教授会に報告。次年度以降の対策に利用することとした。
- ・ 啓発指導の方法
- ・ 文部科学省より配布されている薬物乱用DVDによって学生への意識の高揚に努めた。
- ・ 学生委員会参考資料
- ・ 状況把握と講演会に利用

設問2 ① i 【薬物乱用防止に関する取組】  
 刊行物の作成・配付の実施  
 (平成21年度)

種別	刊行物の作成・配付(具体的な内容)
大学	パンフレットを新生入生に配付
大学	夏季休暇中の事件・事故防止のために パンフ作成
大学	パンフレットの作成
大学	パンフレット「薬物のない学生生活のために」(文部科学省)を配布
大学	学生向けの広報誌で、就職・課外活動等の学生支援情報を在学生在に提供している。
大学	社会安全研究財団・警察庁作成の薬物乱用防止啓発ビデオを借用し、各部局に配布し学部ガイダンスにて活用。
大学	保健管理センターで資料作成・配布、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターのパンフレットを配布
大学	あなたを守る道しるべ
大学	冊子の作成
大学	保健センターの健康診断時にパンフレットを配布
大学	課外活動団体等にパンフレットを配付
大学	サークルリーダー合宿研修会においてDVDにより啓発を行った。
大学	学生案内、父兄へのガイドブック
大学	自治体の作成したリーフレットの配布
大学	自己防衛ハンドブック作成
大学	リーフレットの作成
大学	意識啓発のチラシを配布した。
大学	DVDの作成、チラシの配布等
大学	刊行物の配付 薬物のない学生生活のために 薬物乱用防止読本(留学生用)
大学	パンフレット作成
大学	情報誌に記事を掲載
大学	DVDの作成
大学	「薬物乱用防止読本」新生入生オリエンテーション時に配布。
大学	文部科学省、厚生労働省、自治体作成のパンフレットを配布
大学	新生入生オリエンテーション時にパンフレット配布
大学	自治体及び文部科学省が作成した啓発リーフレットを全学生に配布した。
大学	寮ガイド 留学生ハンドブック
大学	パンフレットの作成、配布
大学	薬物乱用防止読本:薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」薬物のない学生生活のために
大学	入学時の啓発チラシの配布、学内広報紙での啓発記事の掲載
大学	大学に届けられた既製のパンフレットを利用(国等)
大学	新生入生に対しては「ストップ・ザ・薬物」の小冊子を配布する。
大学	厚生労働省・文部科学省・警察庁作成の薬物乱用防止注意喚起冊子の配布
大学	「ダメ!ゼッタイ。」全国防犯協会・社会安全研究財団のピラを配布。
大学	自治体、警察作成の冊子の配布
大学	文部科学省からいただいた刊行物の配布
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁が作成した「薬物のない学生生活のために」 冊子(新生入生へのメッセージ)の配布
大学	警察、自治体、文科省からの刊行物をオリエンテーションで配布。
大学	新生入生オリエンテーション担当の在学生在に福祉保険局のDVDを視聴させる。
大学	文部科学省、厚生労働省、警察庁からのパンフレットを配布
大学	「薬物のない学生生活のために」
大学	既存パンフレット配布
大学	薬物のない学生生活のために(文部科学省パンフレット)
大学	新生入生向け冊子への掲載
大学	学部生生成期発表時に注意喚起文書の配布
大学	学内各サークル配布・指定寮配布
大学	自己防衛マニュアルの作成
大学	刊行物(購入)を配布
大学	薬物に関するフリーペーパーの設置 啓発フライヤーの設置
大学	「健康ミニガイド」を全学生に配布。
大学	大学生の全保証人宛に薬物乱用防止啓蒙活動への協力の文書送付および学内にて啓蒙チラシの配布を実施。
大学	オリエンテーションガイド 「薬物のない学生生活のために」リーフ(文科省・厚生省・警察庁作成)
大学	「薬物のない学生生活のために」(文部科学省、厚生労働省、警察庁)を配布
大学	オリエンテーション
大学	リーフレット配付
大学	学生に配布する「学生手帳・CAMPUS」において「大麻等薬物乱用の防止」について、心身への影響及び刑罰について掲載し、注意喚起を行っている。
大学	薬物乱用防止チラシの配付
大学	財団法人麻薬・覚せい剤防止センター啓発リーフレット(大学名入り)(英訳あり)
大学	パンフレット(文部科学省・厚生労働省・警察庁からのもの)を授業時およびガイダンス時に配布
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁が出している「薬物のない学生生活のために」を事務局に設置していました。
大学	毎年12月初旬に学生団体・クラブ代表者を対象にリーダーズキャンプを実施
大学	サークルリーダーに警察による研修会
大学	文部科学省から送付されてきた「薬物のない学生生活のために」をオリエンテーション時に配付
大学	文部科学省・厚生省・警視庁作成の刊行物の配付
大学	福祉保健局発行リーフレット(2種類)配布

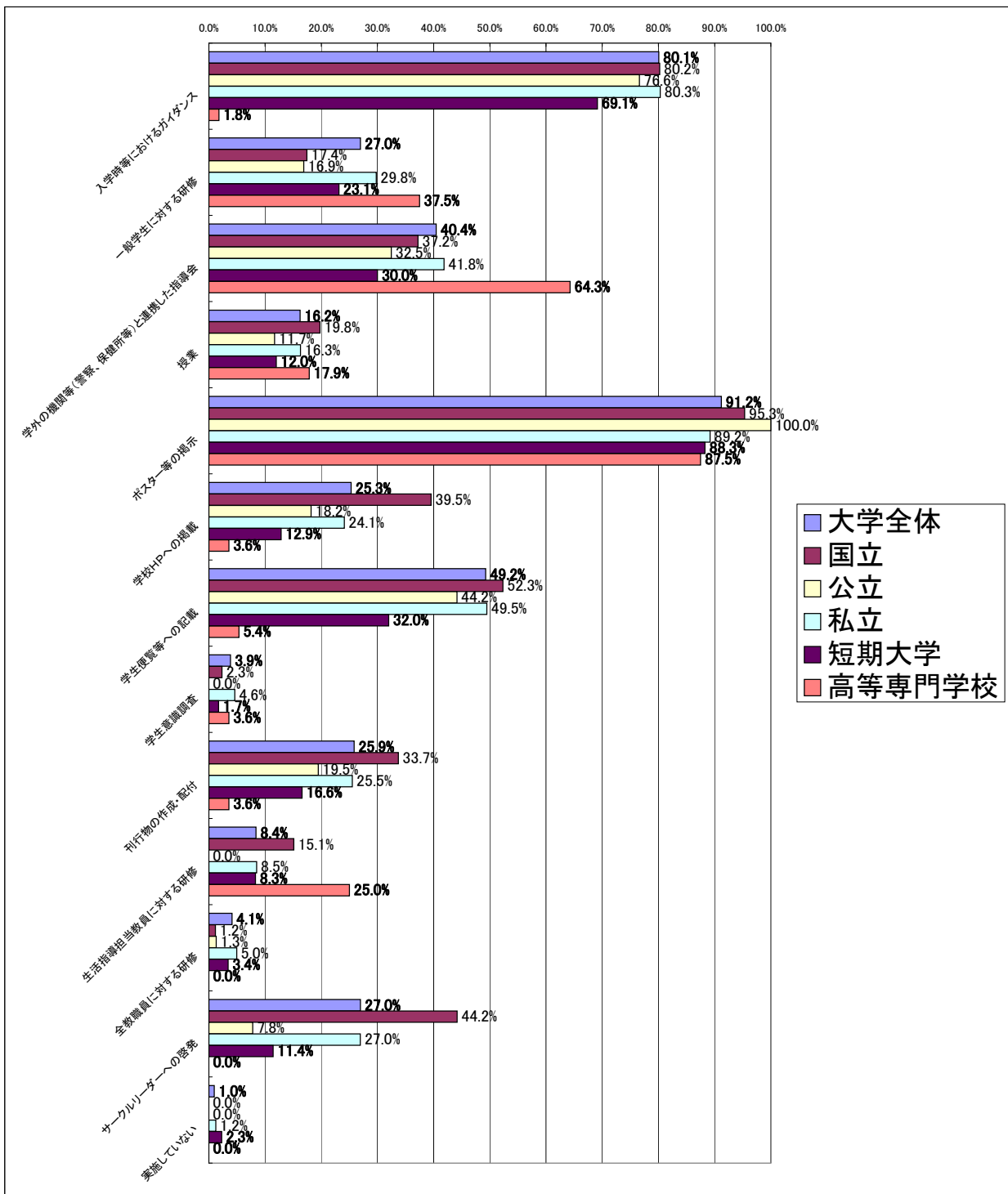


種別	刊行物の作成・配付(具体的な内容)
大学	薬物のない学生生活のために (文部科学省 他)
大学	官公庁、警察等のリーフレットの配布
大学	啓発資料を配布
大学	新入生オリエンテーション時に全員にリーフレットを配布
大学	薬物乱用、盗難防止などの資料作成
大学	学生生活ハンドブックに掲載
大学	新年度ガイダンスにて印刷物財布。
大学	薬物禁止内容を含む「新入生へのメッセージ」を配布
大学	自治体パンフレットを配布。
大学	新入生へのメッセージ(冊子) マナー、健康、ボランティア 悪質商法、薬物乱用等
大学	文部科学省配付物
大学	啓発チラシ等の作成
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁刊行の「薬物のない学生生活のために」配付
大学	薬物に関係のある書物或いはチラシ等を参考に学生に分かりやすい内容に編集したプリントを配付並びに掲示した。
大学	学期ごとに啓蒙文書の配付
大学	「NO DRUGS2009」
大学	キャンパスブック
大学	「薬物のない学生生活のために」(文部科学省・厚生労働省・警察庁)を新入生に配付
大学	学内広報誌で「薬物の本当の姿をあなたは知っていますか」の特集及び大学新聞で記事を掲載。
大学	昨年送付された「薬物のない学生生活のために」のパンフレットを、健康診断時、学生に配布した。
大学	保健センター発行の刊行物配布
大学	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。薬物のない学生生活のために
大学	新入生に対するキャンパスガイドの中に薬物乱用防止に関する記事を掲載した。
大学	注意文書を作成し、ゼミ担当教員から全学生に配布のうえ指導
大学	県の薬物乱用対策本部発行リーフレット、文部科学省・厚生労働省・警察庁発行リーフレット配布
大学	「学生生活GUIDE」の配布
大学	保護者の皆様のためのガイドブック2009
大学	大麻等の違法薬物防止講習配信開始(オンデマンド講習)
大学	自治体発行のチラシ配布
大学	トラブル防止の手引を配布
大学	学園広報誌での啓発(年4回発刊)
大学	厚生労働省 麻薬・覚せい剤乱用防止センター発行の冊子
大学	薬物乱用防止読本
大学	保健所からもらった刊行物をオリエンテーション時に新入生及び一般学生に配布
大学	・学生生活ハンドブック(大学)・薬物のない学生生活のために 配布
大学	冊子「新入生へのメッセージ」配付に記載
大学	学生証の認定時に配布
大学	薬物防止についてのパンフレットの作成
大学	学生生活の手びきに「薬物乱用について」を掲載。既製品のパンフレットの配布。
大学	サークル代表者会議にて資料配布
大学	小冊子作成配付:「薬物のない学生生活のために」
大学	新入生に保健室作成のパンフレットを配布
大学	学生生活全般に関する注意事項をまとめた冊子に記載
大学	学生手帳 事故防衛ハンドブック 保護者向けの啓蒙文書
大学	ブックレットの作成
大学	自治体発行のチラシ・学内用ポスター作成
大学	「薬物乱用はダメ。ゼッタイ」を大学で大学名を入れて印刷し、学部ガイダンス等で全学生に配布している。
大学	公的機関作成の薬物乱用防止パンフレット等をガイダンス等で配付
大学	「薬物のない学生生活のために～薬物の危険は意外なほど身近に迫っています～」資料の配布
大学	薬物に関する資料(Stop Drug)冊子配布
大学	東京都薬物乱用防止リーフレット
大学	・福祉保健局HPを一部抜粋し、チラシを作成・配布 ・文部科学省から送付の「薬物のない学生生活のために」を配布
大学	課外活動指導者及び学生対象の講習会実施
大学	学生携帯冊子
大学	自己防衛ハンドブックの中で薬物トラブル編を掲載(新入生を対象に発刊)
大学	学生生活の手引の作成
大学	「学生部だより」特集記事
大学	学内外でのマナー等をまとめた冊子に、薬物乱用Q&Aや乱用の危険のある薬物を記載している
大学	リーフレット、ガイドブック、ポスター
大学	「薬物のない学生生活のために」の冊子をオリエンテーション時に配布している。
大学	警察本部作成・刊行物利用
大学	文科省作成「薬物のない学生生活のために」を配付
大学	大明出版「新入生へのメッセージ」、文科省・厚労省・警察庁「薬物のない学生生活のために」、自治体「心と体を破壊するドラッグ」を新入生へ配布
大学	関係各機関からの刊行物等を配布
大学	薬物防止パンフレットの配布
大学	小冊子「自己防衛ハンドブック」を作成し、新入生に配付
大学	自治体作成のリーフレットの配布
大学	自己防衛ハンドブック配布
大学	サークル代表者会議等で防止に関する啓発。学生生活のしおりに記載。DVDの作成。リーフレットの配布。
大学	部・サークル代表者会議
大学	学生向け資料として行政機関作成のリーフレットをパンフレットスタンドにて配付

種別	刊行物の作成・配付(具体的な内容)
大学	「薬物のない学生生活のために」(県薬事室から提供)「薬物依存について」(本学保健相談室作成)
大学	警察から用意していただいた資料のコピーを教職員に配布し学生に対しての指導を呼びかけた
大学	全学生への啓発ビラ配布 啓発グッズ(絆創膏)の配付
大学	資料の配布
大学	近隣の警察署へ出向き相談、関係パンフを借用し大学で印刷し全学向けに配付した。
大学	送られてきた既成の刊行物の配布
大学	学生向け啓発ビラの作成
大学	文科省他作成のリーフレットを全学年に配布
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁作成の「薬物のない学生生活のために」を入学時のガイダンスにて配布。福祉保健局作成の「今こそストップ!薬物乱用」を新入生の配布物に封入
大学	「学生生活の手引」の作成・配布
大学	「大麻等薬物乱用防止ハンドブック」の作成・配布
大学	新入生へのメッセージ(冊子)
大学	パンフレット「全学生へのメッセージ」作成
大学	リーフレットの配布
大学	文部科学省からの配布物
大学	ビデオ
大学	ハンドブックの作成
大学	厚生労働省「薬物乱用防止読本」、生活環境課「薬物乱用防止」
大学	リーフレット、パンフレット
大学	大麻等違法薬物についての意識調査結果についてリーフレットを作成し学生に配布した。
大学	「薬物のない学生生活のために」
大学	学生と父母向けの定期刊行物に1ページ注意喚起情報を掲載した。
大学	啓発DVDの作成 リーフレットの作成(2種類)
大学	リーフレット
短大	チラシの配布
短大	新入生へのメッセージ 2009年度版
短大	自治体作成の薬物乱用防止キャンペーン用リーフレットに協賛、リーフレット配布
短大	リーフレットの配付
短大	警察庁より配布依頼のあったパンフレット・ポスターの配布・掲示
短大	薬物のない学生生活のために(文部科学省発行パンフレット)
短大	刊行物(購入)を配布
短大	警察から防犯セミナー実施時DVD上映、資料配布
短大	文科省等のパンフ
短大	ガイダンス時にチラシを配布
短大	学生生活ハンドブックに掲載
短大	薬物乱用防止パンフレットを取り寄せ配布
短大	新年度ガイダンスにて印刷物配布。
短大	本校で作成した自己防衛ハンドブックを配布
短大	薬物のない学生生活のために印刷物配付
短大	健康福祉部業務課パンフレットを配布。
短大	「薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ』」、「薬物のない学生生活のために」の配付 新入生へのメッセージ(冊子)
短大	マナー、健康、ボランティア 悪質商法、薬物乱用等
短大	「自己防衛ハンドブック」(WAVE出版)の冊子を配布
短大	配布資料
短大	昨年送付された「薬物のない学生生活のために」のパンフレットを、健康診断時、学生に配布した。
短大	学生支援課からのたより
短大	文部科学省・厚生労働省・警察庁からの「薬物ない学生生活」小冊子
短大	注意文書を作成し、ゼミ担当教員から全学生に配布のうえ指導
短大	冊子「新入生へのメッセージ」
短大	チラシの配布
短大	冊子の作成・チラシの配付
短大	学園広報誌での啓発(年4回発刊)
短大	・学生便覧(短大部)・薬物のない学生生活のために 配布
短大	学生手帳 事故防衛ハンドブック 保護者向けの啓蒙文書
短大	「薬物のない学生生活のために」
短大	薬物に関する資料(Stop Drug)冊子配布
短大	「学生部だより」特集記事
短大	政府刊行物の配布(1年生全員)
短大	自己防衛ハンドブックの配布
短大	全学生への啓発ビラ配布 啓発グッズ(絆創膏)の配付
短大	資料の配布
短大	文部科学省・厚生労働省・警察庁作成の「薬物のない学生生活のために」を入学時のガイダンスにて配布。福祉保健局作成の「今こそストップ!薬物乱用」を新入生の配布物に封入
短大	「学生生活の手引」の作成・配布
短大	麻薬・覚せい剤乱用防止センターのホームページからダウンロードして印刷・配布
短大	リーフレットの配布
短大	厚生労働省「薬物乱用防止読本」、生活環境課「薬物乱用防止」
短大	各機関から送付された印刷物の頒布
短大	リーフレット

種別	刊行物の作成・配付(具体的な内容)
高専	薬物防止小冊子を全学生分購入し配布した
高専	外部機関により作成された教材を学生に配布している。
高専	厚生労働省からの「覚醒剤・大麻・MDMA・違法ドラッグ乱用防止啓発読本」を3年生に配布
高専	文部科学省からの教材を配布

設問2 ② 【薬物乱用防止に関する取組】  
 薬物乱用防止に関して行う予定の取組(平成22年度予定)  
 ※複数回答



設問2 ②a 【薬物乱用防止に関する取組】  
 入学時等におけるガイダンス実施予定回数  
 (平成22年度予定)

(単位:校)

	1回	2回	3回	4回以上
大学	495	43	7	19
国立	57	4	1	3
公立	53	3	0	0
私立	385	36	6	16
短期大学	213	16	2	1
高等専門学校	1	0	0	0
合計	709	59	9	20

設問2 ②b 【薬物乱用防止に関する取組】  
 一般学生に対する研修実施予定回数  
 (平成22年度予定)

(単位:校)

	1回	2回	3回	4回以上
大学	144	32	4	9
国立	10	2	0	1
公立	9	4	0	0
私立	125	26	4	8
短期大学	59	14	2	2
高等専門学校	17	3	1	0
合計	220	49	7	11

設問2 ②d

【薬物乱用防止に関する取組】  
授業の実施(科目名・その他)  
(平成22年度予定)

【大学】

教養科目
「ピア・サポートを考える」 「学生生活とリスク」
1年次セミナー
アカデミックリテラシー
アセンブリアワー I、II
ウエルネス論
キャリアデザイン
キャリア開発演習 II
キャンパス・リテラシー入門
キャンパスライフプランニング
キャンパス入門
こころと体の健康科学 A・B
スチューデントスキル科目・基礎演習科目
フレッシュマンセミナー
ヘルスサイエンス 嗜好品と健康
まほろば教養ゼミ
医学の基礎
学生生活ガイダンス
学生生活の危機管理
学生生活概論
関連部局と調整
基礎ゼミナール I、II
基礎演習
基礎教養ゼミ I・II
教養講座「危機管理対策」
経済学部1年生必修
「大学入門講座」
健康スポーツA
これからの健康科学
健康スポーツ学
健康と医療(アルコール・薬物依存)
健康の科学
健康運動科学および演習1(1年次ゼミ)
健康科学
健康教育
現代社会における薬物問題
行動の脳科学
自己管理論
社会生活概論
社会倫理
修学基礎
商学部「アカデミックリテラシー」の一部の時間を 使い、学生生活全般の講座を実施予定
小児保健
新入生セミナー
人間関係論
人間力講座 I
生活と健康
生命科学
精神医学概論
青少年問題論
青年の心と身体
総合講座 I
体育(講義)
大学演習(1年生)
大学教育入門セミナー
大学社会生活論の「健康論」
大学生のための健康教育
大学生生活環境論
大学生生活入門
知的生き方概論
保健体育
保健体育講義
保健体育理論 (必修)
法律と社会
薬の基礎科学/救命・救急学概論
薬学への招待
薬学入門 I

専門科目
キャリアプランニング I
サバイバル論
スポーツ社会学
フレッシュマンセミナー
基礎ゼミナール
医学総論 II 演習
学校保健 I
※教育学科
保健コースのみ
学校保健学・法医学
環境衛生学(3年)・薬理学(3年)・薬物資源学(1年)
看護薬理学
関連部局と調整
基礎演習
(小集団科目)
検証と医学等
公衆衛生学
歯科法医学
薬理学
精神衛生学
児童保健学概論
疾患と治療 IV
社会と健康
生体と薬物
精神看護学 I (健康障害と治療)
精神保健学 I
総合基礎演習 I
入学セミナー
比較臨床哲学
薬学への招待 II
(薬学概論 II)
薬学概論、医療と法律、衛生化学、薬理学
薬学入門
薬用植物学、薬用天然物化学、生薬学1、生薬学2、薬理学1、医薬品安全性学
薬理学、法医学、精神医学
薬理学概説(薬物乱用防止を含む)
養護概説

その他
初年時科目 新入生セミナー
「大学探検」(プログラムの1つとして)
ガイダンス
フレッシュマンセミナー
映画、講義、グループ討議、発表会
外部講師(保健所)
学科単位で授業以外で実施。
関連部局と調整
基礎ゼミナール
基礎演習
教職関係の授業時に注意喚起を予定
授業時間を利用したガイダンス、講習会
修学基礎 I
修道スタンダード科目(ファーストイヤー・セミナー I)
心身ウエルネス
専門・基礎演習
早期体験学習(ロールプレイ)
半期・外部講師
留学セミナー

【短期大学】

教養科目
アセンブリアワーⅠ、Ⅱ
ウエルネス論
キャリアデザイン
くらしと毒物
スポーツと健康
ゼミナール
フレッシュマンセミナー
まほろば教養ゼミ
ライフスポーツ理論
運動スポーツⅠ
基礎演習
教養講座「危機管理対策」
健康科学論
社会生活演習
小児保健
人間関係論
人体の構造と機能及び疾病
生命科学
体育(講義)
知的生き方概論
特別演習Ⅰ・Ⅱ
保健体育

専門科目
リラクゼーション論
学校保健Ⅰ
※教育学科 保健コースのみ
看護学・学校保健
基礎ゼミナールⅠ
基礎演習Ⅰ
健康とスポーツ
児童保健学概論
小児保健
精神保健
薬理概論
養護概説、養護特講

その他
半期:外部講師
基礎演習
薬物招待講演会
オリエンテーション
フォーラム

【高等専門学校】

教養科目
健康科学
保健
保健体育
薬物乱用防止の特別講演

専門科目
健康科学特論

その他
特別活動



設問2 ②h 【薬物乱用防止に関する取組】  
学生意識調査の実施予定  
(平成22年度予定)

学生意識調査(利用内容)

- ・ 学生生活実態調査において、薬物に対する意識調査を行う予定
- ・ 現在検討中
- ・ 薬物乱用防止講習会の後アンケートをとり、本学の薬物に対する意識を確認する目的。
- ・ 研修時に簡易なアンケートテストを実施
- ・ 学生生活アンケート
- ・ 大麻学生意識調査
- ・ 今後の学生支援業務に活かす為
- ・ 現状の把握及び啓蒙活動計画の参考資料として活用。
- ・ 学内広報誌にて啓蒙活動の一環としてデータ公開予定。
- ・ 現状の把握と啓蒙
- ・ 課外活動アンケート調査にて実施。
- ・ 現状を把握し、学生の指導に利用
- ・ ガイダンス等での調査
- ・ 学生委員会参考資料
- ・ 啓蒙・啓蒙活動の一環。学内啓蒙活動の参考データとして。
- ・ 学生の生活スタイルを把握するため
- ・ 4年生対象に調査を行い、結果をリーフレットにまとめ、学生に配布して還元し、啓蒙する。
- ・ 関西4大学で共通のアンケート
- ・ 学生委員会参考資料
- ・ 「関係がない・関心がない・見聞きした」などのアンケート実施予定。結果は部内討議資料として利用予定
- ・ 調査結果を学内掲示板に掲示し学生の意識の実態を公表する。
- ・ 調査結果を学生支援部で考察し、ゼミ単位の指導に生かす。

設問2 ② i 【薬物乱用防止に関する取組】  
 刊行物の作成・配付の実施予定  
 (平成22年度予定)

種別	刊行物の作成・配付(具体的な内容)
大学	パンフレットを新入生に配付
大学	パンフレットの配布
大学	夏季休暇中の事件・事故防止のためにパンフ作成
大学	パンフレット「薬物のない学生生活のために」(文部科学省)を配布
大学	「学園便り(e-kit)」という学生向けの広報誌で、就職・課外活動等の学生支援情報を在学生在に提供している。
大学	保健管理センターで資料作成・配布、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターのパンフレットを配布、新入生全員に国立大学法人保健管理施設協議会作成の『大学における大麻・薬物問題とその対策 ガイドブック2010』を配布
大学	あなたを守る道しるべ
大学	冊子作成(新入生へのメッセージ)
大学	冊子の作成
大学	保健センターの健康診断時にパンフレットを配布
大学	新入生にパンフレット「薬物のない学生生活のために」を配付
大学	サークルリーダー合宿研修会においてDVDにより啓発を行う。
大学	学生案内・父兄へのガイドブック
大学	文部科学省等の作成したリーフレットの配布
大学	学生生活GUIDE作成
大学	学生向け冊子「安全なキャンパスライフを過ごすために」作成
大学	リーフレットの作成
大学	意識啓発のチラシを配布予定。
大学	セーフティライフ、STUDENTS
大学	薬物乱用カード作成。
大学	文部科学省作成パンフレット 薬物のない学生生活のために
大学	DVDの作成、チラシの配布等
大学	学生生活案内2010
大学	刊行物の配付
大学	薬物のない学生生活のために
大学	パンフレット作成
大学	DVDの作成
大学	「薬物乱用防止読本」新入生オリエンテーション時に配布。
大学	文部科学省、厚生労働省、自治体作成のパンフレットを配布
大学	新入生オリエンテーション時にパンフレット配布
大学	文部科学省及び全国防犯協会連合会が作成した啓発リーフレットを全学生に配布。自治体が作成した啓発DVDを上映。
大学	寮ガイド
大学	留学生ハンドブック
大学	文科省、厚労省、警察庁発行のパンフレットの配布(1年生)
大学	みんなで広げよう薬物乱用防止の輪
大学	入学時の啓発チラシの配布、学内広報紙での啓発記事の掲載
大学	大学に届けられた既製のパンフレットを利用(国等)
大学	新入生に対しては「ストップ・ザ・薬物」の小冊子を配布する。保健室前に自由に持ち帰れるリーフレットを置く。
大学	厚生労働省・文部科学省・警察庁作成の薬物乱用防止注意喚起冊子の配布
大学	文部科学省等作成資料「薬物のない学生生活のために」を配付
大学	「薬物のない学生生活のために」文部科学省・厚生労働省のピラを配布。
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁が作成した「薬物のない学生生活のために」
大学	冊子(新入生へのメッセージ)の配布
大学	文科省・厚労省・警察庁作成のパンフレットを入学者に配布。
大学	警察、東京都、文科省からの刊行物をオリエンテーションで配布。
大学	ドーピングも含んだ研修会
大学	アンケートによる調査
大学	パンフレット配布
大学	文部科学省、厚生労働省、警察庁からのパンフレットを配布予定
大学	「薬物の無い学生生活のために」文部科学省・校正労働省・警察庁版
大学	新学期に在生全員に資料配布
大学	冊子の配付
大学	学内各サークル配布・指定寮配布
大学	自己防衛マニュアルの作成
大学	薬物に関するフリーペーパーの設置 啓発フライヤーの設置
大学	「健康ミニガイド」及び「薬物のない学生生活のために」リーフレットを新入生に配布。
大学	新入生へのメッセージ
大学	学内での啓蒙チラシの配布
大学	オリエンテーションガイド
大学	「薬物のない学生生活のために」リーフ(文科省・厚労省・警察庁作成)
大学	「薬物のない学生生活のために」(文部科学省、厚生労働省、警察庁)を配布
大学	リーフレット配付
大学	学生に配布する「学生手帳・CAMPUS」において「大麻等薬物乱用の防止」について、心身への影響及び刑罰について掲載し、注意喚起を行っている。
大学	薬物乱用防止チラシの配付
大学	大明出版作成の冊子『新入生へのメッセージ』を配布。冊子の40～41頁に薬物乱用について詳細に記載されている。
大学	財団法人麻薬・覚せい剤防止センター啓発リーフレット(大学名入り)(英訳あり)
大学	パンフレット(文部科学省・厚生労働省・警察庁からのもの)を授業時およびガイダンス時に配布
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁が出している「薬物のない学生生活のために」をオリエンテーション時に1年生に配布し、さらに事務局内に設置する予定です。
大学	毎年12月初旬に学生団体・クラブ代表者を対象にリーダーズキャンプを実施
大学	文部科学省から送付されてきた「薬物のない学生生活のために」をオリエンテーション時に配付
大学	よりよいキャンパスライフを送るための冊子(健康ミニガイド)を作成し、配布
大学	文部科学省・厚生労働省・警察作成の刊行物の配付
大学	リーフレットの配布

種別	刊行物の作成・配付(具体的な内容)
大学	薬物のない学生生活のために(文部科学省 他)
大学	官公庁、警察等のリーフレットの配布
大学	啓発資料を配布
大学	薬害乱用防止パンフレット(薬物のない学生生活のために)
大学	新入生オリエンテーション時に全員にリーフレットを配布
大学	薬物乱用、盗難防止などの資料作成
大学	学生生活ハンドブックに掲載
大学	新年度ガイダンスにて印刷物配布。
大学	薬物禁止内容を含む「新入生へのメッセージ」を配布
大学	健康福祉部業務課パンフレットを配布。
大学	パンフレット「薬物のない学生生活のために」を新入生に配布
大学	新入生へのメッセージ(冊子) マナー、健康、ボランティア 悪質商法、薬物乱用等
大学	文部科学省配付物
大学	啓発チラシ等の作成
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁刊行の「薬物のない学生生活のために」配付
大学	21年度と同じ形で周知させたい。
大学	学期ごとに啓蒙文書の配付
大学	「薬物のない学生生活のために」・「NO DRUGS2009」
大学	キャンパスブック
大学	「薬物のない学生生活のために」(文部科学省・厚生労働省・警察庁)を新入生に配付
大学	学生ガイドブックに啓蒙活動の一環として「薬物乱用から身を守る」を掲載。
大学	パンフレットをオリエンテーション時に配布予定。
大学	保健センター発行の刊行物配布
大学	「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」「薬物のない学生生活のために」
大学	新入生に対するキャンパスガイドの中に薬物乱用防止に関する記事を掲載した。
大学	注意文書を作成し、ゼミ担当教員から全学生に配布のうえ指導
大学	静岡県薬物乱用対策本部発行リーフレット、文部科学省・厚生労働省・警察庁発行リーフレット配布
大学	「薬物のない学生生活のために」(文科省・厚労省・警察庁発行)
大学	「学生生活GUIDE」の配布
大学	保護者の皆様のためのガイドブック2010
大学	文科省「薬物のない学生生活のために」を配付
大学	自治体発行のチラシ配布
大学	トラブル防止の手引の配布
大学	冊子の配布
大学	学園広報誌での啓発(年4回発刊)
大学	昨年と同様の物
大学	薬物乱用防止読本
大学	・学生生活ハンドブック(大学)・薬物のない学生生活のために 配布
大学	冊子「新入生へのメッセージ」配付に記載
大学	学生証の認定時に配布
大学	薬物防止についてのパンフレットの作成
大学	学生生活の手びぎに「薬物乱用について」を掲載。既製品のパンフレットの配布。
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁の発行する「薬物のない学生生活のために」のリーフレットを新入生全員に配布
大学	サークル代表者会議にて資料配布
大学	新入生に保健室作成の冊子を配布
大学	学生生活全般に関する注意事項をまとめた冊子に記載
大学	学生手帳 事故防衛ハンドブック 保護者向けの啓蒙文書
大学	ブックレットの作成
大学	自治体発行のチラシ・学内用ポスター作成
大学	「薬物乱用はダメ。ゼッタイ」を大学で大学名を入れて印刷し、学部ガイダンス等で全学生に配布している。
大学	公的機関作成の薬物乱用防止パンフレット等をガイダンス等で配付
大学	「薬物のない学生生活のために～薬物の危険は意外なほど身近に迫っています～」資料の配布
大学	文部科学省より薬物に関する資料(薬物のない学生生活のために)配布
大学	東京都薬物乱用防止リーフレット
大学	・警察から送付の「ドラッグの種類や刑罰」のパンフレットを配布
大学	・文部科学省から送付の「薬物のない学生生活のために」を配布
大学	県警薬物対策課よりポスターの提供を受けて配布
大学	薬剤師協会よりパンフレットをいただき、新入生に配付。
大学	学生生活GUIDEの中で薬物・アルコール編を掲載(新入生を対象に発刊)
大学	学生生活の手引の作成
大学	学内外でのマナー等をまとめた冊子に、薬物乱用Q&Aや乱用の危険のある薬物を記載している
大学	リーフレット、ガイドブック
大学	文部科学省・厚生労働省・警察庁などからの刊行物を配布させていただく予定です。
大学	警察本部・刊行物利用
大学	文科省作成「薬物のない学生生活のために」を配付
大学	21年度に同じく刊行物を新入生へ配布
大学	関係各機関からの刊行物等を配布
大学	薬物防止パンフレットの配布
大学	小冊子「学生生活GUIDE」を作成し、新入生に配付
大学	新年度ガイダンス時に文部科学省・厚生労働省・警察庁作成のパンフレット
大学	自治体作成のリーフレットの配布
大学	新入生へのメッセージ配布
大学	サークル代表者会議で講演・ビデオ上映。学生生活のしおりに記載。DVDの作成。プリント配布。
大学	部・サークル代表者会議
大学	「新入生メッセージを」保護者会で作成し、1年生全員に毎年配布している。
大学	新入生の皆様へという冊子を入学に際し配布している。
大学	入学時のガイダンス資料として行政機関作成のリーフレットを配付
大学	「薬物のない学生生活のために」(県薬事室から提供)「薬物依存について」(本学保健相談室作成)
大学	適切な資料を教職員・学生へ配布予定

種別	刊行物の作成・配付(具体的な内容)
大学	全学生への啓発ビラ配布
大学	今年度も近隣の警察署へ出向き相談、関係パンフを借用し新年度オリエンテーションにて大学で印刷し全学向けに配付した。
大学	学生生活ガイドを入学生に対して配布する。薬物乱用について記載されている。
大学	送られてきた既成の刊行物の配布
大学	学生向け啓発ビラの作成
大学	平成21年度に同じく、文部科学省・厚生労働省・警察庁作成の「薬物のない学生生活のために」を入学時のガイダンスにて配布。福祉保健局作成の「今こそストップ！薬物乱用」を新入生の配布物に封入
大学	「学生生活の手引」の作成・配布
大学	新入生へのメッセージ(冊子)薬物乱用防止のリーフレット
大学	パンフレット「新入生へのメッセージ」作成
大学	刊行物配布、設置
大学	リーフレットの配布
大学	文部科学省からの配布物
大学	ビデオ
大学	ハンドブックの作成
大学	リーフレット、パンフレット
大学	大麻等違法薬物についての意識調査結果についてリーフレットを作成し学生に配布する。
大学	「薬物のない学生生活のために」
大学	・啓発DVDの作成 ・上映・啓発冊子の作成・配布 学生生活心得
大学	リーフレット
大学	「キャンパス内のルール」として、薬物乱用の注意喚起掲載。全学生に配布。
大学	文科省他作成のリーフレットを1学年に配布
短大	チラシの配布
短大	文部科学省・厚生労働省・警察庁作成の資料
短大	「薬物のない学生生活のために」を配布
短大	文科省・厚生労働省・警察庁作成のパンフレットを入学者に配布。
短大	新入生へのメッセージ 2010年度版
短大	パンフレット配布
短大	文部科学省等からのチラシ配付およびポスター掲示
短大	リーフレット配布
短大	「薬物のない学生生活のために」の配布
短大	リーフレットの配付
短大	警察庁より配布依頼のあったパンフレット・ポスターの配布・掲示
短大	新入生へのメッセージ
短大	薬物のない学生生活のために(警察庁)
短大	大明出版作成の冊子『新入生へのメッセージ』を配布。冊子の40～41頁に薬物乱用について詳細に記載されている。
短大	文科省等のパンフ
短大	ガイダンス時にリーフレットの配布(薬物のない学生生活のために)
短大	学生生活ハンドブックに掲載
短大	薬物乱用防止パンフレットを取り寄せ配布予定
短大	新年度ガイダンスにて印刷物財布。
短大	薬物のない学生生活のために印刷物配付
短大	健康福祉部業務課パンフレットを配布。
短大	「薬物のない学生生活のために」を、新入生全員に配付
短大	新入生へのメッセージ(冊子) マナー、健康、ボランティア 悪質商法、薬物乱用等
短大	「学生生活ハンドブック」～知っておきたいリスク回避」の冊子を配布
短大	いろいろなパンフレットや書物からピックアップした内容を独自にポスターにし掲示している
短大	パンフレットをオリエンテーション時に配布予定。
短大	学生支援課からのたより
短大	文部科学省・厚生労働省・警察庁からの「薬物ない学生生活」小冊子
短大	注意文書を作成し、ゼミ担当教員から全学生に配布のうえ指導
短大	冊子「新入生へのメッセージ」
短大	チラシの配布
短大	冊子の作成・チラシの配付
短大	学園広報誌での啓発(年4回発刊)
短大	・学生便覧(短大部)・薬物のない学生生活のために 配布
短大	文科省パンフ配布
短大	文部科学省・厚生労働省・警察庁の発行する「薬物のない学生生活のために」のリーフレットを新入生全員に配布
短大	学生手帳 事故防衛ハンドブック 保護者向けの啓蒙文書
短大	自己防衛ハンドブックを作成し、冒頭に説明文を掲載している。
短大	リーフレット「大麻乱用はダメ。セツタイ」・「薬物のない学生生活のために」
短大	学生ガイドブックに掲載
短大	文部科学省より薬物に関する資料(薬物のない学生生活のために)配布
短大	政府刊行物の配布(1年生全員)
短大	新入生の皆様へという冊子を入学に際し配布している。
短大	自己防衛ハンドブックの配布
短大	全学生への啓発ビラ配布
短大	平成21年度に同じく、文部科学省・厚生労働省・警察庁作成の「薬物のない学生生活のために」を入学時のガイダンスにて配布。福祉保健局作成の「今こそストップ！薬物乱用」を新入生の配布物に封入
短大	「学生生活の手引」の作成・配布
短大	薬物乱用・防止パンフレット(文科省・厚生労働省・警察庁)の配布
短大	リーフレットの配布
短大	前年度と同様
短大	各機関から送付された印刷物の頒布
短大	リーフレット
短大	担任からの配布
高専	外部機関により作成された教材を学生に配布。
高専	資料を配布する

設問3 【薬物乱用防止に関して特に力を入れている取組】

種別	薬物乱用防止に関して特に力を入れている取組
大学	以前(平成20年)、元厚生労働省 厚生局麻薬取締部 主任鑑定官及び警察の共同で、講演会を開催し学生と教職員に講演した。今後も専門的な知識者との協力を得て防止等に努めていく。
大学	パンフレット「アルコール・薬物とこころの健康」を作成し、学生及び教職員全員に配布し、啓蒙活動を行った。
大学	学生の自主的活動としての薬物撲滅キャンペーン(21年度実施、22年度以降は未定)
大学	警察による講話
大学	各学部等の教員等から学生一人一人に対して、薬物乱用防止についての指導の徹底を図っている。
大学	・新入生へ対する学生生活オリエンテーション ・学生する薬物乱用未然防止講演会
大学	新入生オリエンテーション時に、警察本部の職員からの講演を行っている。
大学	毎年3月に実施の、次年度学部新入生担当チューター対象の勉強会(半日実施)において、薬物乱用防止に関する講演または情報提供の形により担当教員の方へ各学生への対処をお願いしております。
大学	薬物乱用防止の講習会
大学	学外の機関等と連携した講演会の開催
大学	新入生の保護者に対し啓発通知文書を送付した。
大学	平成21年度は、全学生を対象にアンケート調査を実施した。また、地元警察署に協力願ひ、全学生・教職員を対象に「大麻等薬物乱用防止に関する講演会」を実施した。
大学	新入生へのガイダンス等での啓発・指導
大学	「大學生生活環境論」は新入生全員が受講必須の特別科目であり、5月に実施している。また、昨年度は、学外機関との連携として、大阪府健康福祉部薬務課の職員を講師に招き、健康に関する選択科目において講義(90分)を担当していただき、本年度も実施を予定している。さらに、自治体作成の映像を元に1分弱の注意喚起映像を作成し、学内各所に設置された液晶モニタにて配信している。
大学	①全学生を対象に大麻等違法薬物に関するアンケートを実施。②全学生に意識啓発のチラシを配布した。③外部より講師を招き「大麻・違法薬物乱用防止講演会」を開催した。④国際麻薬乱用撲滅デーに合わせ、学長名で「薬物乱用根絶宣言」を行い、学内に掲示するとともに大学HPにも掲載した。以降それまでの取り組みを更に強化している。
大学	薬物乱用カードの作成・配付。(保健・医療推進センター)
大学	警視庁・東京都庁と連携した講演会、また本学保健センター教員による教育的指導を行っています。
大学	・総長が入学式の式辞で薬物乱用防止について述べる予定 ・全学的にポスター等の掲示で周知を行い、また、学生が利用できるシステム等を通じて積極的に広報等を行っている。 ・新任教職員研修においても薬物乱用防止について説明を行い、全学的に周知を行っている。
大学	入学式当日の、新入生オリエンテーションの教育担当副学長講話内に、薬物乱用防止について語っていただいております。毎年冬に開催されている、サークルリーダーズトレーニングにおいて、福祉保健局制作の、薬物乱用防止ビデオを見せ、学内の学生用掲示板や学生寮内掲示板等に、目立つように黄色を基調に作成した薬物乱用防止ポスターを掲示している。
大学	新入生オリエンテーション時において保健管理センター所長が講演して注意喚起を図っている。
大学	新入生ガイダンスでは、毎年文部科学省や北海道のチラシを配付して指導する。平成21年度は、新入生ガイダンスで警察による講演を行った。
大学	新入留学生オリエンテーションおよび在学生ガイダンスにて薬物乱用防止に関する文書を配布するとともに、口頭でも説明し、薬物乱用防止の啓発に努めている。 *新入生オリエンテーション(1回)、在学生ガイダンス(4回)、2部学生(2回)
大学	入学式後の新入生へのオリエンテーションでの講演
大学	学生への啓発・指導の8項目(薬物乱用、災害発生、金銭トラブル、ハラスメント、交通事故、禁煙、暴漢・痴漢、飲酒トラブル)の1つとして、ポスター・チラシを作成し学内のいたるところで掲示・配付している。また、教養科目「学生生活の危機管理」において、税関に講師派遣依頼し「薬物汚染」と題し講演を行っている。
大学	ガイダンスでの教員による説明
大学	夏季休業前に全学生個人にメールにて注意喚起を行っています。
大学	平成21年度から、新入生ガイダンス時に専門(神経精神医学講座)の教授による薬物に関する講演(30分)を行っている。
大学	4月当初に警察官を招いて、薬物乱用防止についての講演会を実施した。
大学	新入生については警察及び本学健康サポートセンター、在学生については、本学健康サポートセンターの各担当者より、薬物乱用防止について説明を行っている。
大学	「生活と健康」の授業では、ダルクに講義依頼した。
大学	海外に本学より派遣で長期留学する学生へのオリエンテーション(2月)の中で、留学生生活の注意の項目の一つとして口頭で指導している。今後とも機会をとらえて啓発活動の充実を行っていきたい。
大学	大都市と異なり、禁止薬物についての現実味が薄い状況であるが、ガイダンスやポスター掲示により意識啓発を行っている。
大学	医学部教授による、薬物が心身に与える影響(心身に影響を与えるメカニズムやその影響についてなど)に関する講義・講演会の開催
大学	行政や警察と連携した研修会・講習会を在学生に対して実施する。 (公立大学の特色を利用した取り組みを実施する。)
大学	保健福祉事務所や保護観察所から講師を招き講習会を実施し、今後も予定している。全員必ず受講するよう指導しており、当日参加できなかった学生へは個別に指導をしている。また、大学職員も薬物乱用防止に関する講習会に積極的に参加し、学生への指導に役立っている。
大学	平成21年度に学生より薬物乱用防止に関するキャッチコピーを募り、採用されたキャッチコピーをもとに美術系サークルにポスター作成を依頼した。完成したポスターは学内掲示にとどまらず、近隣の官公署・警察署・公共交通機関・大学近隣の店舗等にも掲示を行い、大学内外へのPRに努めた。
大学	昨年度警視庁の方を招き講演会を行いました。学生へ参加を促すためその時間の授業について出席扱いとする告知を行ったところ、7割の参加がありました。付加価値をつけなければ参加しないと思われる状況は残念なことです。参加した学生には薬物や怖さについてよく理解できたとのアンケート結果がでました。
大学	学園祭で、警察の「薬物乱用防止啓発用の車両」を配車してもらい、薬物の見本やパネル展示及び警察担当者より、具体的な事例を交えた啓発活動を実施した。
大学	昨年までは社会人対象とした専門職大学院のみを設置していましたが、本年4月～学部生を抱えることになり、若年層の学生も増えてきたので、対応を考えた少年サポートセンターの方(警察本部・生活安全部手配)による講習「薬物関連事犯の現状等、および、教育現場における指導・教育について」に本学学生課員が複数参加予定。講演に加え、様々な麻薬の実物や麻薬接種に使用する器具などの現物展示予定。特に力を入れている取り組みではないが、麻薬の現物を知ることには非常に重要だと考えている。
大学	ドーム(学生寮)への入寮生への指導 キャンパス内警備・管理の徹底(時間外使用許可の徹底など)
大学	学外の機関(警察)と連携した指導
大学	・キャプテン運営委員会(学生委員委員会)主催の大麻根絶リーダーズ研修会・全学年対象の大麻根絶講習会・学園祭における薬物乱用防止キャンペーン・教職員、在学生対象薬物乱用防止講話
大学	学年毎のオリエンテーションで注意を促す。 保護者への呼びかけをする。
大学	今年度は新入生全員に、薬物乱用防止に関する複数の冊子・パンフレットを配付した。
大学	・学生便覧に従来のより丁寧な説明を加えた。 ・新入生オリエンテーションにおいて、従来のより丁寧な説明を行った。
大学	通称「夜回り先生」として著名な先生を本学の社会福祉学部臨床心理学科客員教授としてお迎えし、「青少年問題論」「比較臨床哲学」の科目をご担当いただき、授業の中で薬物乱用防止に関する様々な事例等を講義いただいている。また保護者の組織後援会・教育懇談会についても年1回程度、先生の講演をお願いしている。
大学	本学は医療系の大学であるため、自身の健康を損なう薬物乱用は医療人として絶対に行ってはいけない行為である旨を、学生に強く認識してもらうためにガイダンスや掲示に力を入れている。
大学	22年度より全学生対象に薬物乱用防止講演会を行う。(主に文科省指定のDVDを放映)
大学	保証人に対しても啓発資料(学生生活ガイド)を送付
大学	掲示物や配布物による啓蒙活動が中心である。オリエンテーションでの周知徹底を行っている。
大学	・薬物乱用防止のポスター掲示・刊行物の配布・海外留学予定学生へのガイダンスで注意喚起
大学	本学の学祭の時に、スクールナースクラブの学生部員と一緒に薬物防止について呼びかけています。福祉部健康安全局薬務課の方から薬物防止のパネルを数枚お借りして展示しています。
大学	外部機関による講演会においてDVDを上映してもらい、学生に身近な現実として捉えさせている。
大学	ガイダンス、研修の実施
大学	警察本部による講演会
大学	大学公認のクラブ団体の部長を集めて会議を行う時に、薬物に対して意識付けを行なってきてます。特に新入生に対しては、ガイダンスや講義で複数回、薬物に対しての話をし、意識付けを行なっていきます。
大学	地元警察署や保健所などと連携して講演会を実施している。
大学	ホームページで学生向けWebサイトに啓発の掲示を行っている。

種別	薬物乱用防止に関して特に力を入れている取組
大学	警察と連携した講演会を授業内で実施。
大学	本学では、全在学学生を対象として違法薬物乱用防止の啓蒙活動を実施しています。新入生は、入学ガイダンス等で実施するアンケート調査において、違法薬物に対する意識調査や、「1年次セミナー」で、警察や福祉保健局の方の講演と啓蒙DVDの視聴を実施しています。また、2～4年生については、学科やクラスやゼミ単位で啓蒙DVDの視聴を実施しています。
大学	新入生の父母に対して、入学時保護者説明会の中で説明を行い、在学生の父母には父母会広報誌に掲載しております。
大学	警察署の協力を得て、年に一度、冬期休業前に、講演会を行っている(約1時間)。警察の方に直接来ていただき、具体的な話をしてもらうことは、とても効果がある。
大学	年度当初(ガイダンス)に担任教員から具体的事例をもとに、防止についての説明を行っている。
大学	入学時の保護者説明会開催時に薬物乱用防止について、協力を求めている。
大学	警察生活安全部による講話
大学	・新入生対象のオリエンテーションにおいて、警察本部薬物銃器対策課から講師を招き、全学部・全学科において「薬物乱用防止講演会」を実施し、注意喚起を行っている。 ・入学式後に開催される父母懇談会において「大麻等薬物乱用の防止について」注意を促し、保護者から学生への注意喚起を要請している。 ・学長が主催する会議等において、文部科学省、日本学生支援機構、警察本部、薬物乱用対策推進本部等からの薬物乱用防止対策に関する通知文並びに他大学の事件等を瞬時に公開し、各学部長から当該学部の教員に対し、授業やゼミナール、研究室など適切な機会において、注意を喚起し、学生の「自覚と注意」を促進するよう要請している。
大学	大学が主催して薬物に対する講演会などを開催することのほか、100近く存在する学生のサークルや部活を統括している学生自治会が講演会などを主催し、キャンペーンを開催して傘下サークル・部活や一般学生へ啓蒙活動を行っています。
大学	大学としても学生自らが企画立案し開催する啓蒙活動に際し、助言し支援しています。
大学	全ての学生が在学中に必ず一度は薬物乱用防止教室を受講するよう、必修授業に組み込んだこと。また、警察や少年センターなど外部専門機関についてお願いしていること。
大学	サークルリーダーに対する研修会
大学	大学生薬物乱用防止教育認定の取り組み
大学	学生および教職員を対象とした薬物乱用防止講演会の開催
大学	県警生活安全部少年課と協力して少年事件で補導・逮捕された対象者の更正に関して協力して社会活動をしていく計画を進めている。具体的には年齢の近い大学生ボランティアと共に警察・学校関係者が彼らと共に活動する時間を持つ。
大学	薬物指導に詳しい教員(精神科医)による、薬物乱用防止指導。
大学	オリエンテーション時に警察署生活安全課からの指導
大学	入学時、また在学時にも随時学生自身が薬物乱用防止について認識出来る様、ポスター等の掲示などによって意識向上を促している。
大学	入学時および毎年度始めのガイダンスにおいて、学生便覧や刊行物を用い、生活指導担当教員による啓蒙・指導を行い、薬物乱用防止に努めている。
大学	学生サービス部門(学生部ほかキャリアセンター、教務部等々、学生の教育、生活支援に関わる部署)会議の席で薬物乱用防止についての説明等を行い、全学的に危機感を持ってもらうよう、着意はしています。しかしながら、学生部の陣容(職員数)が少ないため、事故防止に向けて研修会を開催する等の企画はできず、意識の高揚が精一杯の状態です。
大学	警察などから提供されたDVDやポスター・資料を活用し、啓蒙・啓発に努めている。今年度は、指導した内容の理解について、署名をさせ、全学生に啓蒙・啓発を行なった。
大学	入学時のガイダンス・授業・ポスター掲示などにより啓蒙活動しております。
大学	今年度、学生便覧への加筆充実
大学	保護者への啓蒙活動(入学時及び後援会総会等)外部団体(警察、ダルク等)の学生向け講習・講演会。担当職員の研修。サークルリーダー会での啓蒙
大学	平成20年度に開催した、学外の機関等(警察)と連携協力した研修会講演会を再度実施予定。
大学	地域の機関(警察、保健所、薬防協など)との連携、情報収集。
大学	学生の長期休暇前に啓蒙活動を行う。一回の乱用で依存症になること、脳が破壊されること、俗称および売人の売込み方法を理解させる
大学	入学時オリエンテーション、上級生は新学期オリエンテーション時に精神科医師より講習会を実施。 また、学生による薬物事件等があった場合には学内掲示(新聞記事等)および教員(担任・クラブ顧問)から学生への注意喚起・指導依頼を実施している。
大学	クラブ活動報告会開催時に「薬物に関する研修会」を実施予定。
大学	新入生向けガイダンスで警察から話してもらう
大学	新年度のガイダンスで各学年に注意をうながしています。
大学	①警察等専門の者に依頼し、学生に対し講習会を実施する。 ②薬物乱用者が発覚した場合は学則に従い厳重な処分をする。
大学	地元警察などと連携を図り、薬物乱用者の実体験、法的処置など薬物に関する現状と生の声を学生に伝え、事の重さを理解させるよう注力しております。
大学	学内全面禁煙に伴い、学内巡回指導を行っている。「非喫煙者には薬物乱用者はいない」との報告もあり、薬物乱用防止には喫煙者に対する指導が重要であると考え、重点的に指導を行っている。
大学	大学内の指導だけでなく、地元警察署の担当課に講演をしてもらったり、DVDを見せるなどマンネリ化しないよう取り組んでいる。
大学	学生主体の啓蒙活動(健康福祉部健康局薬務課薬物対策係の支援を受けて)
大学	全ての学生が「危険性」、「違法性」の認識を持っている。それに対して「好奇心」という誘惑にどう対処する術を持たせるか・・・講習会などを通じた地道な啓蒙活動以外に無いと思っている。引き継ぎ、警察、保健所などと情報交換、講習依頼を行っている。
大学	平成21年度は警察と連携して学生保証人にも懇談会実施時に薬物乱用防止を呼びかける講演会を実施しました
大学	クラス委員総会にて、クラス代表の委員へ薬物乱用防止についての説明をし、資料配布を行っている。クラス代表の委員がクラスに持ち帰り、伝達をし注意を促している。(配布資料は、各服飾造形の教室への掲示をしてもらっている)教職員に対しては、教授会などで説明し資料を渡し、クラス・コース担任として学生たちに注意を促すように指導してもらっている。
大学	2009年10月2日にハラスメントと薬物に関する学生対象の講演会を実施したが、参加者が極めて少なかった為、学生の集まりやすい講演会とパネル展示での啓蒙活動は継続の方向で検討したい。 またデジタルサイネージ(液晶モニター)を使用しての薬物乱用防止の啓蒙活動も検討している。
大学	3、4年次の薬理学において、専門教育を行っている。
大学	本年度の実施はまだ未定ではあるが、毎年「ダルク」の先生に講師を依頼している。その前年には夜回り先生にも来ていただき、このような講演会が本学では好評であり、犯罪を抑制されていると考えている。
大学	平成21年度オリエンテーション、ガイダンスにおいて、県警本部より事件・事故等の中でも説明があった。
大学	学生本人に対しては、配布物への掲載や掲示物、ポータルサイト等により直接注意を呼びかけている。保証人については、昨年度は郵便による注意を促し、さらに「懇談会冊子」への掲載、懇談会時にも直接説明。
大学	年度当初の新入生ガイダンス時に県の薬事室と連携して15～20分と短時間ではあるが、外部の講師の説明を受けている。
大学	警察OBを特命教授として採用し、対応窓口の設置、ガイダンスの実施により防止対策にあたっている。
大学	入学時のオリエンテーション、授業内での薬物等に関する講義(外部講師)
大学	保護者に対する啓蒙
大学	新入学生の保護者への講習
大学	厳重な出席確認による、全学生への講演会受講の義務付けをしている。欠席者には、後日、DVDによる講演の受講を実施している
大学	21年度は4月の新入生ガイダンスにおける薬物使用についての注意喚起と、6月に全学生を対象にした薬物防止セミナー(講師:財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター)を1回ずつ開催しました。薬物防止セミナーの際は、キャラバンカーも来ていただきました。本年度も4月の新入生ガイダンスおよび6月の外部講師を招いてのセミナーを開催する予定です(各1回)。
大学	学内広報誌やホームページへの繰り返し掲載
大学	最寄りの警察署の署員を招いて、長期休暇期間が始まる年末に薬物の知識についての講習会を開いている。またこれからは講演をしてもらう際に、薬物を取り締まる立場だけではなく、実際に薬物の使用経験があり克服した人(している人)、または薬物を克服するための施設や環境に従事している人などを招いて講演行うことも考えている。
大学	入学前ガイダンスの中に薬物乱用に関する、今の社会の状況の話を含め積極的に取り入れ、学生たちに啓蒙をはかっている。
大学	入学式当日、保護者への防止協力の呼びかけをオリエンテーションの中でやっている。
大学	在学生対象に、対策を含め薬物に対する啓蒙活動を強化していく。
大学	保護者に対する講習会。薬物乱用防止教育講師認定者の推進。
大学	新入生・クラブ学生・保護者について講習会及び指導を行っている。
大学	地元保健所とのタイアップにより情報を頂いたりして情報の交換をはかっている。
大学	保健所とのタイアップによる大学祭での講演・観劇を実施。
大学	全学生に対して講習会を実施予定
大学	課外活動団体に対し、外部から講師を呼んで講習会等をおこなった(平成21年度)
大学	新入生ガイダンス時に、重点的に注意を促している。

種別	薬物乱用防止に関して特に力を入れている取組
大学	新入生ガイダンス及び早期体験学習を通じ普及教育を行うと共に、大学の薬学専門教育の場において化学物質による中毒と処置・薬物乱用とは、主な依存性薬物と法律・覚醒剤乱用の変遷等について講義している。平成22年度においては、校内のNET利用による配信等を計画し薬物乱用防止の徹底を図りたい。
大学	学生へ注意喚起文書送付。 クラブリーダーを通じ各委員会への周知徹底。
大学	文部科学省等の講習会等に教職員が参加し指導
大学	福祉保健局より講師を派遣していただき講演会を実施。約5000人の新入生に対し、薬物に関する講演を聞かせることができた。
大学	学生を対象にした、地域警察署と連携した啓発講演会の開催
大学	①食堂大スクリーンでの薬物乱用防止啓発映像放映 ②学生への携帯電話情報サービスでの薬物乱用防止啓発
大学	地域のボランティア団体の啓発運動に呼応して学生に展開。
大学	・オリエンテーション時の啓発 ・警察からのパンフレット配付 ・新入生向けパンフレット学生生活編(外注)配付
大学	入学式当日、新入生とその保護者を対象に薬物乱用防止のための講演を実施している。
大学	地元警察署幹部との情報交換会 地元警察署から薬物捜査担当者を講師として招き、強化運動部員全員を対象に薬物乱用防止の講演会を実施した。
大学	大学祭での啓発活動の実施。
大学	医療系の大学などで薬物の危険性などについては、講義で学習している。2010年度は協定を結んでいる薬科大学の教員を招き講演を行なう予定である。
大学	学生部長から、各学年を集め、薬物乱用防止についてガイダンスを行っている。
大学	配布物やポスターについては、本学が独自に作ったものと無料配布されている業者が作ったものを使用して防止を呼びかけている。なお、本学独自のものは、カラー印刷が可能な上質な用紙を使用して目立たせている。
大学	入学式後、新入生オリエンテーションを開催。新入生に対し不正薬物の危険性を説明。 学園祭開催前に学生団体を対象として、外部の専門講師を招聘したアルコール等に関する講習会を開催。講習会においては不正薬物の危険性について、アルコールと同程度の時間を割いている。 学生団体の新リーダーを集めて「リーダーズキャンプ」と呼ばれる合宿を実施。そこで不正薬物のDVDを上映すると共に薬物乱用防止の説明会を開催。
大学	22年度は、在学生の保護者のための「保護者会」を実施する為、その際周知する予定。 ・新入生：「薬物意識アンケート」を行なうとともにパンフレットを手渡して配付し、注意喚起と啓発を実施。 ・在学生：問題となる薬物とその害についてのパンフレットを手渡して配付し、注意喚起と啓発を実施。 いずれも学生定期健康診断時に実施している。
大学	2年次前期必修科目「薬の科学」の中で薬理学の観点から薬物の乱用の危険性について、学生に理解させている。
大学	最初の時点(新入生)にきちんとした知識を身に付けてもらうことが大切だと考え、新入生ガイダンスの中に取り入れている。
大学	課外活動指導者及び学生に対しての啓蒙活動
大学	年数回、薬物乱用に関する研修会に職員が参加している。
大学	平成21年度、保護者に対する生活指導(薬物)の協力依頼をする。8月に2回、父兄後援会実施
大学	入学時によるガイダンス サークルリーダーへの啓発
大学	クラブ・サークルのリーダーを対象に現職の警察官に現場の生の話しをしてもらい、広報用のビデオを見せて研修をさせている。
大学	「学生向けブログ」での注意喚起
大学	現在のところ特に行っていない。
大学	職員の薬物に関する知識向上(研修会・講習会等への教職員参加)
大学	当該事案は表層に浮上することはほぼありえず、不穏情報収集のためには、日々、積極的に学生と接触、コミュニケーションを深め、「良からぬうわさ」情報の収集を行っている。
大学	警察署と連携した指導会・講演会
大学	父母面談会で父母に対しても注意を促している。
大学	夏季休暇前に地元警察署より講師を派遣し、薬物乱用防止を含む「学生生活に関わる研修会」を実施している。
大学	課外活動団体の始動行事である「リーダートレーニング」において、学内看護士による講習を行う。学生が学生を「見張る」システムづくりを構想している。学生の「薬物乱用はゼツタイだめ」だという自発的な意識を高めるため。
大学	薬物乱用防止のポスターを学内に掲示し、トイレ等特に人目がかからない箇所に薬物乱用防止のポスターを多く掲示しています。
大学	新入生オリエンテーション時における講習会
大学	年度始めのガイダンス期間中に、全学年に対して生活指導等のガイダンスを実施している。内容は交通事故防止のための指導、詐欺などの犯罪被害予防、薬物乱用防止の3項目を含む。いずれも地元警察署より職員を派遣して頂き、講演・指導をお願いしている。
大学	ガイダンス日に全学生を対象に薬物知識に関するセルフチェックを行いました。
大学	ポスター複数掲示し、「絶対ダメ!」と表記することで印象付けを行っている。
大学	ポスターの掲示や資料の配布。
大学	年度末に近隣の警察署生活安全課へ、新年度に全学生へ配布する「学生向けの薬物乱用防止を呼びかける小冊子」について相談し、担当者から助言をいただくなどしている。平成21年度と同様、平成22年度においても「全国防犯協会連合会・社会安全研究財団」発行の「薬物乱用防止に関する小冊子」を借用し、大学として印刷する許可を得た。昨年度は学生の不正薬物の使用を防止する対策として、注意を呼びかける文書及び小冊子の配付、学内掲示及び全学生に対してメール配信での注意や呼びかけ、また、教職員に対しても小冊子を配布するなどした。今年度は新年度のオリエンテーション時に全学生に向けて配付し、『法律で規制されている麻薬・覚せい剤・大麻などを使用すると体を確実に痛めつけ、精神までも壊してしまう危険な薬物である』ことを呼びかけている。まずは、学生の危険薬物乱用防止に対する意識を高めることが取り組みとして重要であると考え、時間がとれず参加できなかった「講演会」や「研修会」へ今年度は積極的に参加したい。
大学	年間を通じて、リーダーズトレーニング(次年度の体育会、文化会のリーダー予定者のオリエンテーション:2月に実施)や、4月の新入生オリエンテーションで、薬物乱用防止の啓発教育を実施している。また、ポスター掲示とチラシの配布、取り替え等により、継続的に啓発に努めている。
大学	薬物乱用防止啓発DVDを上映予定。薬物乱用防止啓発リーフレットを配付予定。
大学	学年始めに、学部指導懇談会(新入生対象)、学生生活安全講習会(在学生対象)を開催。外部から講師を依頼し、薬物乱用防止の啓発を行っている。
大学	警察署や保健所と連携した学生に対する講演会
大学	新入生ガイダンスにおいて警告のプリントを配布するとともに、管轄内の警察の方を招へいし防止に向けたガイダンスに取り組んでいる。
大学	全学年出席を義務付けた薬物乱用防止に係る特別講義の実施(薬理学、精神科、法医学の各専門的な視点より講義)
大学	オリエンテーションにおいて、所轄警察署による薬物乱用防止講習会を実施している。
大学	全学生を対象としている薬物乱用防止講座は、単独の実施ではなく、薬物乱用防止啓発活動として1週間ほどの期間に正門付近で学生らに呼びかけるだけでなく、掲示物等も用意し、薬物の実態・本当の恐ろしさを伝えています。また講座自体も例年見直ししており、平成21年度は地元保健所の講話だけでなく、薬物関連のDVDの上映と、刑務所の関係者を招き、薬物所持等による受刑者の姿をリアルに話してもらおうなど、興味本位で触れてはいけないことを様々な方法で学生らに伝えています。
大学	本学では、後期オリエンテーション実施時に、地元の警察から講師を招き防犯講習を行っています。講話の中に薬物に関することも含めてもらっています。また、平成21年度は薬物乱用指導者研修会や麻薬・覚醒剤乱用運動の講演会に職員を出席させました。
大学	入学時のオリエンテーションにて警察署による講演会の実施。 薬物乱用防止のリーフレット及び新入生へのメッセージ(冊子)の配付。 1年次のビキナーズセミナー及び宿泊研修での指導・啓発。 学内のポスター等の掲示。
大学	警察と連携した講演会
大学	新入生オリエンテーション時に、配布資料として薬物乱用防止に関するちらしを配るとともに、学生へ薬物乱用について説明をし注意喚起させる。
大学	教授会開催時間中に全教職員対象の研修会の実施。新入生対象のフレッシュマンセミナーでの文科省からのパンフレットを配布の上での講演会開催。
大学	新入生を対象に、近隣の警察の方に来て頂き、講演会を実施している。その中では、薬物使用に関する具体的な話や、DVDを上映することにより、薬物の危険性を強く学生達に伝えている。
大学	平成21年度は、ご自身が薬物の使用を体験した方による「一人芝居・講演会」を開催した。対象は本学学生と教職員。この方は薬物乱用防止を啓発するために、薬物に関する自身の体験を「演劇」という目に見える形で訴えることにより、全国の学校などを回り若者へメッセージを伝える活動を続けている。芝居は薬物の恐ろしさが非常にリアルに伝わるとともに、講演会も薬物乱用防止という観点のみではなく家族のこと、生きるといふことを考えさせるきっかけとなる内容であった。
大学	新入生ガイダンスにおきまして警察の方にご講演頂く。
大学	学生への薬物乱用防止教育の徹底
大学	サークル学生の集まる機会を捉えて、視覚型資料(パワーポイント等)を活用して啓発に努めている。
大学	また、独自の啓発パンフを作成し、全学生に年1回配布している。
大学	平成22年4月、麻薬・脱法薬物防止委員会を設置
大学	寮生に対する啓発
大学	毎年指導会・講演会を実施している。
大学	厚生局麻薬取締支所より職員を派遣していただき、新入生オリエンテーションにて講演を毎年行っていただいています。
短大	ダルクによる講演会

種別	薬物乱用防止に関して特に力を入れている取組
短大	学生の集まる談話室に薬物乱用防止についてのポスターを多数掲示している。
短大	1年生全専攻(6専攻)の学生対象に、入学時の健康管理と主に「薬物乱用防止について」90分使いDVD、アルコールパッチテストなどの実際を通して薬物乱用の怖さを講義
短大	学生が目につく場所に掲示し、受付キャビネットに置き配布している。
短大	ポスター掲示と講義で薬物の依存性などについて、薬剤師の先生を講師として講義を行っている。
短大	入学前スクールにて保護者同伴のガイダンス時に薬物乱用防止についての説明を実施。
短大	オリエンテーションでの啓蒙
短大	学外の機関(警察)と連携した指導
短大	全体ミーティングで徹底する。
短大	・学生便覧に従来よりも丁寧な説明を加えた。 ・新入生オリエンテーションにおいて、従来よりも丁寧な説明を行った。
短大	学生向けの講習会を企画検討中である。
短大	薬物乱用防止のポスターを、学生の目とまりやすい場所に掲示しています。
短大	地元警察本部による講演会
短大	地元警察署や保健所などと連携して講演会を実施している。
短大	警察署の協力を得て、年に一度、冬期休業前に、講演会を行っている(約1時間)。警察の方に直接来ていただき、具体的な話をしてもらうことは、とても効果があると考えている。
短大	地元警察から講演者を派遣してもらった。
短大	警察生活安全部による講話
短大	防犯セミナーを警察署刑事課の方を招き実施し、DVD上映と資料の配布を行い啓蒙・指導をしている
短大	学外の関係機関との連携に努め、地域の情報から対応について検討する。
短大	学長、学生部長名での薬物禁止の注意文を掲示しています。
短大	警察庁配布のDVD視聴など、なるべく専門家による啓蒙に触れるよう工夫している。
短大	ポスターによる啓蒙
短大	学園祭で、警察の「薬物乱用防止啓蒙用の車両」を配車してもらい、薬物の見本やパネル展示及び警察担当者より、具体的な事例を交えた啓蒙活動を実施した。
短大	入学時のガイダンス・授業・ポスター掲示などにより啓蒙活動をしております。
短大	今年度、学生便覧への加筆充実
短大	他大学との連携
短大	教員に対して研修を行いパンフレットとポスターを配布し、研究室での掲示と学生への指導を促している。
短大	平成20年度に開催した、学外の機関等(警察)と連携協力した研修会講演会を再度実施予定。
短大	・学生の長期休暇前に啓蒙活動を行う。 ・一回の乱用で依存症になること。 ・脳が破壊されること。 ・俗称および売人の売込み方法を理解させる。
短大	入学式後の「保護者連絡会」で、保健室から「大麻等薬物について、家庭でも十分な注意をお願いします。」と、呼びかけています。
短大	外部発行ポスター掲出や、クラス、ゼミに於ける啓蒙などを実施している
短大	今後の対策として、各種行政機関における薬物研修に参加することはもちろんのこと、薬物の危険性を周知するため、警察機関及び民間組織であるDARC等と連絡調整を図った上で学内における講演を依頼する等していく予定である。
短大	警察署の生活安全課の職員による、招待講演を実施薬物乱用の危険性を理解させ意識を高めている。
短大	新入生向けガイダンスで警察から話してもらう
短大	入学前教育での説明。
短大	平成21年度は、入学時ガイダンスにおいて、保健所と連携して薬物乱用についての講話の場を設けました。なお、昨年度、今年度ともに、県の薬物乱用対策推進本部からいただいた『薬物乱用はダメ。』というリーフレットを全員に配布しています。
短大	掲示等で注意喚起、啓蒙を行っています。
短大	クラス委員総会にて、クラス代表の委員へ薬物乱用防止についての説明をし、資料配布を行っている。クラス代表の委員がクラスに持ち帰り、伝達をし注意を促している。(配布資料は、各服飾造形の教室への掲示をしてもらっている)教職員に対しては、教授会などで説明し資料を渡し、クラス・コース担任として学生たちに注意を促すように指導してもらっている。
短大	新入生の特別研修において1時間程の講習を行い、薬物乱用防止を喚起している。
短大	警察官や官公庁の担当係官による一般的な注意呼びかけではなく、実際に薬物を使用した人の体験を通じた講演を聞かせている。講師は、「止める勇気を持つだけでは危ない、逃げなければ自分も巻き込まれる」と学生に訴え、感想文の中にも、過去に聞いたのと話よりも薬物の怖さ、その悲惨さを感じたとあった。
短大	入学時に新入生に対して学生生活の中で「薬物のない学生生活」を警察官の講師を依頼し、注意を促している。
短大	入学時に看護学科精神領域の教員による講話 学生総合支援センター内にポスター掲示
短大	学生に対しては入学時ガイダンスにおいて、保護者に対しては入学式後の保護者向け学校説明において、啓蒙を呼びかけている。
短大	①医療福祉教養講座の開講(テーマ:「薬物乱用による健康被害」) ②学内へのポスター掲示(定期的に新規の啓蒙ポスターにかえていく) ③禁煙教育(タバコと大麻吸引の相関から)
短大	学生一人ひとりの変化を注意し、変化があれば教職員間で情報交換を行い、学生の安全や健康管理、学生生活支援、メンタルケアなど、連携を大切にしながら常に取り組んでいる。
短大	保護者に対する講習会。
短大	保健所とのタイアップによる大学祭での講演・観劇を実施。
短大	薬物乱用のきっかけとして最も多い未成年者の喫煙対策を強化。校舎内喫煙所の封鎖。所定の場所以外での喫煙に対しての厳重な処罰
短大	①食堂大スクリーンでの薬物乱用防止啓蒙映像放映 ②学生への携帯電話情報サービスでの薬物乱用防止啓蒙
短大	現在は上記に記載の通り、新年度のオリエンテーションおよび1年生は4月の1泊研修時、2年生は9月の1泊研修時に薬物の危険性についてはきびしく説明しておりあります。また、学内2箇所の掲示板にもポスターの掲示をしています。
短大	学生・教職員に対する警察署による薬物乱用防止講習会
短大	地元警察署幹部との情報交換会 地元警察署から薬物捜査担当者を講師として招き、強化運動部員全員を対象に薬物乱用防止の講演会を実施した。
短大	学生便覧の説明を入学時ガイダンスの時に学生生活ガイドブックを見ながら説明をする。
短大	地元警察と連携し、薬物乱用の恐怖について、全体オリエンテーション時に説明している。学生の防犯意識を向上させるために、「学生生活ガイド」というガイドブックを作成して、学生に注意を喚起している。
短大	警察官のみならず、医者の立場からも研修の講師として講演していただくようにしました。
短大	全学生に対する指導・講習会
短大	入学時によるガイダンス サークルリーダーへの啓蒙
短大	警察関係からの講演だけでなく、薬物使用者の経験談も取り入れ、薬物が身近なもので危険なことをより学生に知ってもらうために、現在回復支援施設で支援している方の講演も実施している。
短大	入学式直後に保護者に対する啓蒙を行う。
短大	アドバイザー教員による少人数指導を今まで以上に充実させたい。
短大	警察署職員による講演の開催
短大	課外活動団体の始動行事である「リーダートレーニング」において学内看護師による講習を行う。学生の「薬物乱用はゼッタータイム」だという自発的な意識を高めるため、学生が学生を「見張る」システムづくりを構想している。
短大	ガイダンス日に全学生を対象に薬物知識に関するセルフチェックを行いました。
短大	ポスターの掲示や資料の配布
短大	年に1回、県から外部講師(薬剤師)派遣で「薬物乱用防止教室」を開催。
短大	本学は女子が95パーセントを占めています。男子との交友関係の中で、巻き込まれたり、ときには主となる行為にならないよう教員は授業の状況・出席・服装・言葉使い・家族関係を担任制の中で、注意深く見守ることを常としています。
短大	警察署や保健所と連携した学生に対する講演会。
短大	新入生オリエンテーション時に、配布資料として薬物乱用防止に関するちらしを配るとともに、学生へ薬物乱用について説明をし注意喚起させる。
短大	本学は医療従事者育成の視点も加味して、教員による指導のほか、入学時のガイダンスに新潟県警の所轄警察署の少年補導員による薬物対策講座を行っている。今後は学生防犯ボランティア活動にも参加する予定であることから、連携しながら積極的に進めていきたい。
短大	教授会開催時間中に全教職員対象の研修会の実施。新入生対象のフレッシュマンセミナーでの文科省からのパンフレットを配布の上での講演会開催。
短大	適時ホームルーム等での啓蒙あり。
短大	サークル学生の集まる機会を捉えて、視覚型資料(パワーポイント等)を活用して啓蒙に努めている。 また、独自の啓蒙パンフを作成し、全学生に年1回配布している。



種別	薬物乱用防止に関して特に力を入れている取組
短大	ゲートドラッグとも言われている「禁煙指導」はa～kまで行っている。覚醒剤・麻薬の薬物乱用防止に限った指導は上記のような内容であるが、タバコも含めた薬物乱用を防止するためには、根気強い指導や呼びかけなど学生の精神的な援助が必要である。小規模な短大であるため、欠席の把握や保健管理センターへの相談を通じた連携による学生相談室、教員によるフォローなどを極め細やかに行っている。
高専	地元の警察署から講師を招き「薬物乱用防止に関する講演会」を毎年2学年を対象に実施しております。
高専	学校薬剤師や警察による講演会を年1～2回実施しております。
高専	夏季休業前に全学生を対象として、地元警察署生活安全課職員を講師に薬物乱用防止を含む学生の非行防止に関する「生活指導講演会」を実施している。
高専	平成22年度は高専祭の時に「薬物乱用防止キャラバンカー」を依頼し啓発する予定です。
高専	留学に1年間行く者が多いため、薬物についてホームルームなどでパンフレット時に注意を説明する。「保健だより」で薬物について注意をうながす。
高専	学外の機関等と連携した指導会・講演会
高専	保健所による一般学生への講習会
高専	長期休業前の文書による注意
高専	毎年、2学年学生全員に対して、地元警察または保健所と連携をして、薬物防止講習会を実施している。